

全ト協

全日本トラック協会(坂本克己会長)は、健康起因事故防止に向

基準値を超え脳・心臓など4項目を任意で加理充実につながることで疾患を起しやすくなるのが可能。健康から、多くの参加企業

けドライバーの定期健

の疑いがあるドライバー

理にも生かせる。

いた。

康診断の事後フォロー

を即座に発見。再検

セミナーも全

全ト協はよりの多くの

をサポートする「運輸

診指導や生活習慣改善

国5カ所開催

運送企業に活用を促す

ヘルステクアナビシステ

の指導、点呼に活用で

昨年度、30社217

ため、5月10日～6月

ム」の活用を呼び掛け

ている。5～6月には

7日に福岡、東京、大

阪、愛知、宮城の各ト

全国5カ所で同システ

ムの活用促進を図るセ

活用セミナーを開催。

健診結果数値の見方や

セミナーを開催する。

同システムは全ト協

きる。また、ヘルステ

同システムの活用方法を

の委託でNPO法人の

アネットワークから安

の実証実験を実施。健

説明し、セミナー後の

ヘルステクアネットワーク

全・健康対策づくりに

康面に不安のあるドラ

個別相談も予約制で行

クが構築し、今年度か

向けた助言や指導も受

ドライバーの発見や健康管

う。

ら運用を本格化。

けられる。

(水谷 周平)

データベース化され

データベースには、

た各ドライバーの健診

定期健診の各検査項目

結果を基に、肥満・高

やSAS判定のほか、

血圧・脂質異常・高血

軽度認知障害、残業時

糖のうち3～4項目で

間、事故歴、適性診断